２０２７　年度　一般財団法人神奈川県警友会けいゆう病院　（病床数　410）【1年次】

受入人数	【1年次】2名

常勤・非常勤	研修手当						勤務時間	休暇				当直/月	宿舎	社会保険・労働保険等
	基本手当		賞与		時間外	休日		有給		夏季	年末年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
常勤	284,900円		有		有	無	平日8:30～17:15 土曜日8:30～12:30	10		5	12/29～1/3	3	なし （住居手当75000円支給）	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険加入

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
内科	1年次に内科を26週ローテートします。内科全科ローテーションとしており、呼吸器内科、消化器内科、腎・糖尿病内分泌をそれぞれ約4週、神経・血液内科を8週研修し、神経・血液内科ローテの際に緩和研修を1週経験します。 内科常勤医は45名、うち臨床研修指導医は11名の在籍です。専攻医やスタッフなどの上級医からマンツーマンで指導を受けることが可能です。
救急科	1年次に救急科を13週ローテートします。当院は二次救急病院であり、救急車受け入れ台数は年間約5,015件、救急科常勤医1名、非常勤医師、各科担当医で救急外来を運営しています。 指導医とともに救急患者（救急車・紹介・直接来院）の初期診療にあたるほか、当直では、研修医がファーストタッチ、内科上級医とペアで指導を受けることができます。他、外科系当直、産婦人科、ICUの当直があり、内科以外でも夜間救急の指導を受けることができます。
外科	1年次に外科を9週ローテートします。プライマリ・ケアの基本的な診療に必要な一般消化器・内分泌・血管・呼吸器外科の基礎的知識・技能・態度を習得します。2025年度外科の手術件数は905件、外科常勤医師11名、うち臨床研修指導医6名と指導体制は充実しています。
小児科	2年目に慶應義塾大学病院で研修する
産婦人科	2年目に慶應義塾大学病院で研修する
精神科	2年目に慶應義塾大学病院で研修する
一般外来	内科・外科をローテイトの際に、週1～2回経験する。1年次で必要な日数はほぼ経験できます。

必修科目の研修ができない場合、選択可能な診療科

4週は将来選択したい診療科（内科・救急以外の）を研修することが可能です。特段希望がない場合は、外科研修とする。

○研修アピール

けいゆう病院での初期研修をお考えの皆さん、こんにちは。総合内科部長の関 由喜です。実は私も、十数年前にけいゆう病院で初期研修を終えた「元けいゆう研修医」です。当院は地域中核病院として、Common diseaseをはじめ軽症から重症まで幅広い症例を経験することができます。また周囲にホテルやイベント会場が多く、救急患者発生時の対応も求められています。特に毎年開催されている横浜マラソンでは救急搬送患者の多くを受け入れ、重要な役割を果たしています。
当院には全科の医師が机を並べる大きな医局があり、科の垣根がないところも魅力の一つです。初期研修医が少人数であることから医局全体が初期研修医を歓迎し、教育しようという思いであふれています。初期研修医の2年間は医師としての基本姿勢が形成される非常に大事な時間です。ローテート科に関わらず多くの先輩医師と接することで幅広い知識と技術を得られるのみでなく、自分が理想とするロールモデルとの出会いにもなるでしょう。一度、実習や見学にいらして下さい。そしてどのような研修が行われていて、どんな医師が働いているのかぜひその目で確かめてください。お待ちしています。

○研修医からのメッセージ

私はもともと内科志望だったので、専門科を決める前にできるだけ多くの症例を見ておきたかったというのがこの病院を選んだ一番の理由でした。内科は、循環、呼吸、神経＆血液、糖尿病＆腎臓、消化器（肝・胆・膵＆消化管）と幅広くまわることができます。内科の指導医の先生方は10年目以上で、20－30年目の超ベテランの先生方が多く、その先生方に、直接診察や検査の方法、また臨床の考え方をご指導頂けたという2年間は本当にかけがえのない経験となりました。専攻医の先生方とも思ったよりとても距離感が近く、指導を受けやすい環境がありがたかったです。
また、400床規模の中規模病院でありながら、放射線や病理や細菌検査室等も大学病院並にそろっていて直接コメディカルと関わる機会も多く本当に勉強になりました。
ここには本当に研修病院としていい環境がそろっています。が、決して楽ができる病院ではありません。
あとはやる気のある皆さんをお待ちしています！

以下、慶應義塾大学病院から研修医への注意事項

・外科研修はその他の外科系の診療科への振り替えは認めません。
・必修科目がある病院では、必ず必修科目を研修してください。振り替えは認めません。

研修実施責任者 総合内科部長　　関　由喜

※問い合わせ先
担当部署・担当者名：臨床研修センター 齋藤　真貴子

住所：横浜市西区みなとみらい3-7-3

TEL：　045-221-8300

E-mail：rinshou-kenshu@keiyu-hospital.com